【 診療科:消化器内科 】
【 レジメン登録番号:IA-41 】

〈 nal-IRI+5-FU/LV療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	·····	·····	····		14
オニバイド	70mg/㎡	div	○												
レボホリナート	200mg/㎡	div	○												
フルオロウラシル	2400mg/㎡	civ	○												

【1コース期間: 14 日】　　【総コース数:規定なし】

【適応癌種: 膵臓癌 】

【時期: 術前 、 術後　手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT$_3$R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	オニバイド 70mg/㎡	div(90分で)
	5%ブドウ糖液 500mL	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.5	レボホリナート 200mg/㎡	div(120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div (全開で)
Rp.7※	フルオロウラシル 2400mg/㎡	civ(46時間で)
	生理食塩水(別紙希釈表により注入)	

〈day2-3〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o

【参考文献: Lancet 2016;387:545-557、オニバイド点滴静注 添付文書 】
【備考:※…Rp.6は携帯型ディスポーザブル注入ポンプ使用を原則とする。ポートがない場合は入院で施行する場合もある。
インフューザーポンプは、バクスターSV2.5を使用。
入院の場合は、5-FU 2400mg/㎡ ＋ 5%ブドウ糖液 500mL div(46時間で) でも可 】
【変法情報: 】